



♪新着案内♪

図書だより 10月号



平成 27 年 10 月 28 日 輪島市立輪島中学校

今月は、村上春樹さんの本を特集します。特にエッセイが読みやすくおすすめです。村上さんは毎年、ノーベル文学賞受賞なるかと騒がれていますが、イベント化しているような気も…。

「村上さんのところ」

村上 春樹／著

期間限定サイトで読者の質問に著者が答えたものを書籍化。

“迷ったら何度でも読み返したい！人生の常備薬“と本の帯にあるように様々な年代の人がいろんな事を考えているんだなとしみじみとした気分に。

少し時間があれば、気軽に読めます。



「職業としての小説家」

村上 春樹／著

著者がどうやって小説を書いてきたかを語ったエッセイですが、生き方にヒントを与えてくれる本として参考になると思います。決して押しつけがましくなく、すっと入ってくる感じで励ましてくれる気がします。



ノーベル文学賞について



村上さんは、そもそも正式にノーベル賞候補ではなくイギリスの民間の賭け専門の会社がマスコミに発表しているだけです。賭け屋の予想でこれだけ大騒ぎになるんですね。

ノーベル賞の候補だったかどうかかわかるまで、すごい年月がかかります。なぜならノーベル賞の候補者や選考過程は、守秘義務がなんと 50 年間あるからなんです。

過去に日本人でノーベル文学賞を受賞した人は？

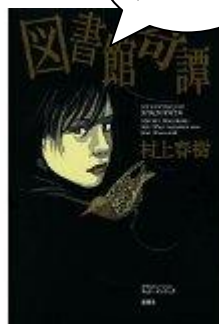
川端康成（1968 年）と大江健三郎（1994 年）の 2 人が受賞しています。

「図書館奇譚」

村上 春樹／著

市立図書館に本を借りに行った“ぼく”は、あるはずのない図書館地下の部屋にとらわれてしまう。

ドイツの画家によるイラストがざんしん斬新でおしゃれなアート本という感じです。



70p と短い！

英語の本 (洋書) のコーナーできました！

かわいい&カラフルな絵本を中心に揃えました。



42 冊 入りました